

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (2021年5月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2021年5月に適用する1^m当たりの単位料金を、2021年4月検針分に適用の料金に比べ4.20円(消費税込)上方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2021年5月検針分の単位料金は、2020年12月から2021年2月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32^m(45MJ/^m)のガスをお使いになる標準家庭で、2021年4月検針分に比較して、134円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/ ^m)		基準単位料金 (円/ ^m)
			2021年5月適用 単位料金(円/ ^m)	2021年4月適用 単位料金(円/ ^m)	
料金表A	0 ^m から20 ^m まで	814	169.69	165.49	160.00
料金表B	20 ^m をこえ50 ^m まで	1,329	143.89	139.69	134.20
料金表C	50 ^m をこえ200 ^m まで	1,632	137.84	133.64	128.15
料金表D	200 ^m をこえ450 ^m まで	3,214	129.94	125.74	120.25
料金表E	450 ^m をこえ750 ^m まで	5,402	125.06	120.86	115.37
料金表F	750 ^m をこえるもの	10,847	117.82	113.62	108.13

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2021年5月検針分の料金	2021年4月検針分の料金	影響額
32 ^m (45MJ/ ^m)	5,933円	5,799円	134円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2020年12月～2021年2月の 平均原料価格 (b)	46,070 円/t
LNG価格	44,960 円/t
LPG価格	56,070 円/t
差 額 (b-a)	11,370 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	44,960 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	56,070 円/t	×	0.0513
			<hr/>		
			46,073.959 円		
				↓ (10円未満四捨五入)	
			46,070 円/t	<hr/>	

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$46,070 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 11,370 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$11,300 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 11,300 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 9.6954 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$9.69 \text{ 円}$$